

ダンプあきたの

NO.396 全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）秋田ダンプ支部
 2019年12月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
 Tel.018-823-7748 fax018-823-7751
 Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp
 一人はみんなのためにみんなは一人のために、一人が一人の仲間をふやそう、労災保険に加入しよう
 田中 070 - 5324 - 4053

カマヤん 幸福な人 ありむら潜



ダンプ冬タイヤの注文

再生タイヤ	22,000円 (BS)
	21,500円 (ヨコハマ扱い)
新品タイヤ	35,000円 (BS・14 プライ)
	37,000円 (BS・16 プライ)
	33,000円 (ヨコハマ)
	25,000円 (トライアングル)

消費税・送料込みの価格です。注文の時、メーカーを必ずお知らせください。希望の場所に配達します。(配達代無料)

※県外への配達には運賃実費が必要です。代金は3回以内で納入します。

在庫確認が必要なので、注文の際に組合へ問い合わせてください。10月1日より、消費税分値上げになりました。なお、ヨコハマタイヤ販売店扱いは、弘進リトレッド製の再生タイヤとなります。

任意保険を自動車共済に切替えよう

安くて事故後のサービスも安心です。見積もりをしますので、事務所にまず電話を。

定期大会開催

11月24日(日)、秋田市のサンライフ秋田で秋田ダンプ支部第32回定期大会が開催されました。県本部の石塚委員長から連帯のあいさつをいただきました。

ダンプ・建設労働者の労働条件改善を取り組んできた1年の活動報告、決算報告と今後1年間の方針と予算の提案が行われました。大会は提案された議案を満場一致で採択し、要求実現、組織拡大に奮闘しようと決意を固め、下記の役員を再任しました。

大会の前に「インボイス制度と消費税」の学習会をダンプ支部の田中書記長を講師に行いました。

「議案書」を大会に参加されていない皆さんに同封しました。「イージス・アショア配備反対の請願署名」は全員に送りました。署名用紙は、県議会議長と秋田市議会議長あての2種類です。年内の集約を目指しています。それぞれに自筆で記入し、家族の分は本人に書いてもらってください。記入した署名用紙はお手数でも直接組合事務所に送ってください。

2020年度役員（敬称略・再任）

執行委員長	高橋正彦
書記長	田中喜三男
執行委員	佐藤秀人
執行委員	佐藤正樹
執行委員	佐藤一義
会計監査	小川 博
会計監査	加藤文秋



イージス・アショア配備反対の署名を

北朝鮮や中国の「脅威」口実に、日本政府はトランプ大統領から「買って」と言われ、イージス・アショアの購入を決めました。政府が配備を予定している自衛隊の新屋演習場は、住宅地や学校などとなり合わせ、組合事務所からも2キロしかはなれていません。

もしミサイル基地が設置され、飛んできたミサイルを迎撃したとすると否応なしに日本が戦争にまきこまれることとなります。またイージス・アショア基地が相手国の最初の攻撃目標とされてしまいます。またイージス・アショアの出す電磁波の人への健康被害、飛行機やドクターヘリなどへの影響が心配されています。

秋田県内では11月末現在、11の自治体がイージス・アショア配備反対の請願や陳情を採択しています。ところが秋田市や秋田県は首長や議会が、配備反対の意思を示していません。知事や秋田市長は、まるで他人事のような姿勢です。議会は継続審査を繰り返し、住民の不安が解消されないうままです。

こうした中、立場をこえてイージス・アショア配備計画反対の署名が始まりました。

年末年始は12月28日から1月5日まで事務所を閉じます。



交通安全推進団体の印
 組合のプレートを出して堂々と仕事をしよう

組合加入者の紹介を！

ラグビーの素晴らしさ伝えたW杯

にわかラグビーファンが一気に増加。W杯の40数日間は南アフリカの優勝で閉幕。「ラグビー超楽しい」の声も…。私の周囲の感想も多種多様。「ルールが難しい」「前に投げたらアカンことだけはわかった」「ノーサイド後の互いの尊敬しあう態度に感激」「なぜ日本チームは外人ばかりなの？」等々。

ラグビーは直接、体と体がぶつかり合う競技ゆえにお互いの尊敬しあう態度は必須という。また、自己犠牲の上に前に前にとボールをつなぐプレースタイルからか、今大会でも謙虚な姿がよく見られた。ニュージーランド代表は勝利後ピッチに整列し、まるで日本人のように全員がスタンドの観客に深々とお辞儀。サモア代表は公の場ではタトゥーが目立たぬよう長袖シャツを着用。家系やルーツを表現する伝統文化のタトゥーが日本では反社会組織と結びつけられるという慣習を尊重したという。

チーム構成も興味深い。日本に継続して3年以上住んでいれば日本代表になれる。キャプテンのリーチマイケルも4大会連続出場のトンブソンもニュージーランド出身だ。さまざまなバックグラウンドを持つ選手が国民の期待を背負いワンチームとしてプレーする素晴らしさを見せつけた。

そして何よりも、アメリカのTV局に忖度することなく大会が組まれていたことが心地よかった。

飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」



2019年重大ニュース

◆国に物申す

辺野古米軍新基地建設の埋立ての賛否を問う沖縄県民投票が2月24日行われ、県民は新基地建設反対（71.74%）の意思を改めて示した。政府は民意を無視して埋立て工事を進めるが、県民らの闘いは続く。全国的にも建設を見直すべきの世論が過半数になっている。

性暴力への相次ぐ無罪判決に女性たちが抗議する「フラワーデモ」が全国に広がる。刑法の見直し、性暴力禁止法の制定が求められている。

2020年4月の大学入試への英語民間試験の導入について11月1日、萩生田文科相が延期を発表した。公平性や公正性に著しく欠けるとして声をあげた高校生、教育関係者らが政治を動かした。

◆新天皇が即位

新天皇が5月1日に即位し、元号が令和となる。10月22日に行われた「即位礼正殿の儀」は戦前のまま神道式に行われ、憲法の政教分離に違反と指摘されている。

両日とも今年に限り祝日となる。そのためゴールデンウィークは10連休となったが、仕事が休めない、長過ぎる、うれしくないといった声が飛び交った。

◆原発マネー還流

関西電力の幹部20人が福井県高浜町の元助役から金品を受け取っていたことが明らかになった。見返りは元助役が役員などをつとめる地元建設会社などへの発注。高浜原発の再稼働に向け安全対策工事などの発注が急増していた。原発利権マネーの徹底究明が国会に求められている。

◆香港の雨傘運動

香港で犯罪容疑者の中国本土への移送を可能にする逃亡犯条例改定案に抗議するデモが6月9日行われ、103万人が参加した。以後、大規模デモが繰り返され、ついに香港政府は9月4日、条例案を正式に撤回した。

その後も、真の普通選挙など自由と民主主義を求める市民の闘いが続いている。

◆世界文化遺産

大阪府堺市、藤井寺市、羽曳野市の百舌鳥・古市古墳群がユネスコ世界文化遺産に登録されることが7月6日、決定した。

一方、世界文化遺産の首里城跡に復元された首里城が10月31日、全焼した。沖縄県民の首里城への思いの強さに心動かされ、再建に向け全国から続々と寄付が寄せられている。

◆ラグビーに熱狂

ラグビーワールドカップ大会画9～11月、日本で開催された。にわかラグビーファンが急増し盛り上がった。11月2日の決勝戦で、南アフリカがイングランドを破り3回目の優勝を果たした。